

衛星内切換え FDMA (SS/FDMA) 方式用衛星搭載機器技術

FDMA (Frequency Division Multiple Access) 方式で運用されるマルチビーム衛星のビーム間での接続性を向上させるため、周波数分割スイッチを応用した SS/FDMA 方式を 1985 年 (昭和 60) に考案、研究を開始した。インテルサットから「衛星内切換え FDMA (SS/FDMA) 方式用衛星搭載機器技術」の研究を 88 年に受託し、90 年に終了したが、この方式を実現するための帯域幅可変 SAW (Surface Acoustic Wave: 弾性表面波) フィルタマトリクスを 91 年に開発した。さらに 89 年、インマルサット第 3 世代衛星に適した SAW フィルタを開発した。これにより、インマルサット第 3 世代衛星は SS/FDMA 方式を採用することになった。

出典：KDD 社史